

今宮ゆうき

33歳

●プロフィール

1984年12月10日相模原市で生まれる。すこやか保育園、横山小学校、清新中学校、立花学園高等学校を卒業し、青山学院大学で学ぶ。党相模原市雇用相談室長、行政書士



相模原市政に チャレンジ

9条改憲NO!

日本共産党

さがみはら市民新聞 2018年 秋・冬号外 日本共産党相模原市委員会
相模原市中央区中央 1-10-10TEL/042-757-1613 電話 042(757)1613 FAX 042(752)0634

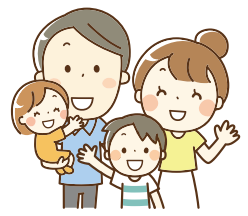
市民と野党の共同をひろげ 安倍暴走政治ストップ!

国政の私物化、公文書改ざん、隠ぺい、データねつ造、虚偽答弁…。次々と噴出し、行政への信頼は地に落ちていきます。あまりにもひどすぎる政治、もう変えるしかありません。力をあわせ、安倍自公政権を終わらせましょう。日本共産党は全力でがんばります。



市政と国政で力を合わせ

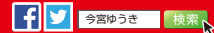
しっかりとirikumimasu



- 暮らし壊す消費税10%への増税やめよ
くらしも営業も壊す消費税の10%への引き上げ(2019年10月)の中止を強く求めます。
- 原発ゼロの日本、再生可能エネルギー社会へ
福島第一原発事故を反省せず、原発の再稼働・増設・輸出への動きは許しません。
- 海外で戦争する国づくりNO! 憲法9条をいかす政治を
9条改悪など、とんでもありません。民主主義と立憲主義の復活を。

今宮ゆうき 活動地域 富士見、矢部、矢部新町、上矢部、鹿沼台、共和、東淵野辺、淵野辺本町、由野台、中央区大野台、高根、弥栄、青葉、松が丘、相生、淵野辺、千代田、星が丘、並木、光が丘、緑が丘

コメント 現在、日本共産党北部地区委員会の党相模原市雇用相談室長です。皆様のお役に立てるよう、竹腰さなえ議員や、後援会の皆さんと一緒に日々活動しています。



わたしの軌跡

～社会人、そして共産党へ～

実家から離れて

私はこれまでいくつかの職を経験してきました。実家を出て自立してから、実家への仕送り、奨学金の返済、そして生活費に追われ、休みなく働いていたこともあります。

仲間の権利を守るため

前職は、古物商の店長として働いていました。ある時、職場で労働問題が起きました。後輩や同僚、お世話になっている先輩、そして自分自身の権利を守ろうと思いました。弁護士に相談、労働局から資料を取り寄せ、インターネットも駆使し、なんとか労働組合を立ち上げました。



市民の暮らしに役立つ人になりたい

当時の職場で、顧客の外国人から何気ない会話の中で生活相談や、行政サービスについて相談を受けることがありました。外国人が抱える大変な生活状況を聞くうちに、外国人の権利を擁護する入管業務に強く関心を持ちました。また、市民の暮らしに役立つ人になりたいと思い、市民と行政

の架け橋である行政書士になりました。

労働者の経験を活かして

労働問題で困っていると共産党議員と相談。そのなかで「働く人の権利や環境を改善するためには政治を変えるしかない」と学び、共産党に入党。その後、地域の人たちとともに活動し、「困っている人たちの力になり、地域のみなさんから信頼される仕事をしたい」と政治の道を選びました。これまでの労働者としての経験や、行政書士としての視点を最大限に活かし、市民の権利がしっかりと守られる市政を実現し、みなさんの役に立てるよう頑張っています。

平和な相模原をめざす 今宮ゆうきさんに期待します

戦後73年経ちましたが、相模原市内には、いまだ3カ所の広大な米軍基地が存在します。2015年8月、米軍基地・相模補給廠での爆発事故は、深夜の街を震撼させました。また、沖縄で墜落事故をおこしました。いつ



相模原市平和委員会 理事長、
原水爆禁止相模原協議会代表理事、
元・相模原市市議会議員

田中 武夫

落ちるかわからない危険なオスプレイが横田基地に配備されました。このままでは、いつか我が物顔で相模原市上空を飛ぶでしょう。「基地も爆音もない平和な相模原」をめざす今宮ゆうきさんに期待します。

いのちと暮らしを守る

魅力ある相模原へ

■国民健康保険税を引き下げます

市は2018年度、国保税を平均5%も引き上げました。今後も毎年引き上げる可能性があります。国保税を引き下げ、減免制度充実を強く求めています。

■保育所・学童保育の待機児童を解消し、質の確保をします

待機児童解消はまだまだです。保育所、学童保育の整備・拡充とともに、専門性を持った支援員として研修や処遇の向上をはかっていきます。

■大型開発優先のまちづくりをあらため 市民の福祉とくらしを充実させます

リニア中央新幹線建設や広域交流拠点整備計画など大型開発優先のまちづくりをあらため、市民の福祉とくらし優先の市政を実現します。

■米軍基地倉庫の立ち入り検査を 日本地位協定の見直し、早期全面返還を

住み続けたい
街に。

私は生まれ育った相模原で市政に挑戦する決意をしました。今、国政では社会保障費がどんどん削られ市民の生活が苦しくなっています。相模原市でも、国保税が上がって続ける一方で、大型開発優先の市政によって市民の暮らしに影響を与えています。私は、住民こそ主人公の政治、命と暮らしをまもる温かい相模原市政の実現のために頑張ります。

